

# 世 界 史

## 注 意

1. 問題は全部で11ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

### マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> 0
---	----------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

〔 I 〕 次の文章を読み、下の設問に答えなさい。(解答用紙その 1 を用いなさい。)

今日に至るまで人類の歴史に覇権争いと戦争が絶えたことはないが、古代ギリシアを中心とする地中海世界もまたその例外ではなかった。古くは叙事詩にも歌われたトロイア戦争の伝承があるが、その中では神々までもがギリシア側、トロイア側に分かれて争い合っている。シュリーマンによって発掘されたトロイアの遺跡は、今日のトルコ北西部に位置するが、同じ小アジアの地において紀元前 6 世紀になるとペルシアが勢力を増し、ギリシア系イオニア植民市の反乱をきっかけとしてギリシアに侵攻、ここに数次にわたるペルシア戦争が勃発した。第一次ペルシア戦争においては、 率いるペルシア軍は奥深くまで侵攻することはなかったが、第二次ペルシア戦争においてはギリシア本土に上陸するに至った。しかし前 年の有名なマラトンの戦いで敗北を喫した。その 10 年後、今度は内陸深く侵入、有名な の戦いではレオニダス王率いるスパルタ軍を全滅させたが、サラミスの海戦において 率いるギリシア連合軍に敗北、撤退を余儀なくされた。

対ペルシアでは共同して戦ったアテネとスパルタであったが、その後、両者はギリシア世界の覇権を賭けて激突するに至った。この戦争はアテネの敗北をもって終わったが、敗戦後のアテネではスパルタの支援を受けた三十人政権と民主派が対立、その混乱のさめやらぬ中、前 399 年に「無知の自覚」で有名な哲学者 は死刑に処せられた。このようにギリシア内部での主導権争いが有力ポリスの間で繰り返されていたが、やがて今度はギリシアの東からではなく北から脅威が迫って来た。

マケドニアはフィリッポス 2 世の下に勢力を伸長させ、前 338 年の の戦いにおいてアテネ・テーベ連合軍に勝利し、アテネを始めとするギリシアのポリスを支配下に収めるに至った。その後、フィリッポス 2 世の後を次いだ息子のアレクサンドロスは更に進撃を続け、前 333 年の の戦い、2 年後の の戦いにおいてペルシアに壊滅的な打撃を与えて滅ぼした。その少年時代に「万学の祖」とも言われる哲学者 の教えを受けたとされる彼自身

は、軍事に秀でていただけでなく、ホメロスを始めとするギリシア文化の愛好者だったとも伝えられる。

アレクサンドロスの死後、後継者間の争いが激化、大帝国は結局、三つの王朝に分裂するに至った。その一つのプトレマイオス朝  の女王クレオパトラはローマの  と組んで  に対抗したが、前31年の  の海戦で敗北し、その王朝は滅亡するに至った。

問 1 下線部(A)によるペロポネソス半島における発掘によって明らかにされた古代文明の呼称として最も適切なものを一つ選び、マークしなさい。

- ① エーゲ文明
- ② クレタ文明
- ③ ミノス文明
- ④ ミケーネ文明

問 2 下線部(B)に該当するペルシアの王朝名を一つ選び、マークしなさい。

- ① アンティゴノス朝
- ② アケメネス朝
- ③ ササン朝
- ④ セレウコス朝

問 3 下線部(C)の一つで、ネストリウス派を異端とした公会議が開かれたポリスの名前を一つ選び、マークしなさい。

- ① ミレトス
- ② エフェソス
- ③ ビザンティオン
- ④ シラクサ

問 4 下線部(D)の戦争の経過を綴った著者の名前を一つ選び、マークしなさい。

- ① トウキュディデス
- ② タキトゥス
- ③ ポリビオス
- ④ ヘロドトス

問 5 空欄  に入れるのに最も適切な人名を一つ選び、マークしなさい。

- ① キュロス2世
- ② ダレイオス1世
- ③ ダレイオス3世
- ④ カンピュセス2世

問 6 空欄  に入れるのに最も適切な数字を一つ選び、マークしなさい。  
い。

- ① 492                      ② 490                      ③ 480                      ④ 479

問 7 空欄  に入れるのに最も適切な人名を一つ選び、マークしなさい。  
い。

- ① テミストクレス                      ② ペリクレス  
③ クレイステネス                      ④ ミルティアデス

問 8 空欄  に入れるのに最も適切な人名を一つ選び、マークしなさい。  
い。

- ① プラトン                      ② タレス                      ③ ソクラテス  
④ アリストテレス                      ⑤ エピクロス

問 9 空欄  に入れるのに最も適切な人名を一つ選び、マークしなさい。  
い。

- ① プラトン                      ② タレス                      ③ ソクラテス  
④ アリストテレス                      ⑤ エピクロス

問10 空欄  に入れるのに最も適切な地名を一つ選び、マークしなさい。  
い。

- ① シリア                      ② マケドニア                      ③ カルタゴ                      ④ エジプト

問11 空欄  に入れるのに最も適切な人名を一つ選び、マークしなさい。  
い。

- ① アントニウス                      ② カエサル                      ③ スキピオ  
④ オクタウィアヌス                      ⑤ レピドゥス

問12 空欄  に入れるのに最も適切な人名を一つ選び、マークしなさい。

- ① アントニウス            ② カエサル            ③ スキピオ  
④ オクタウィアヌス      ⑤ レピドゥス

問13 空欄  に入れるのに最も適切な地名を一つ選び、マークしなさい。

- ① レウクトラ            ② マンティネイア      ③ テルモピレー  
④ プラタイア            ⑤ カイロネイア

問14 空欄  に入れるのに最も適切な地名を一つ選び、マークしなさい。

- ① レウクトラ            ② マンティネイア      ③ テルモピレー  
④ プラタイア            ⑤ カイロネイア

問15 空欄  に入れるのに最も適切な地名を一つ選び、マークしなさい。

- ① イッソス            ② アクティウム      ③ アルベラ  
④ ス サ            ⑤ サルディス      ⑥ ペルセポリス

問16 空欄  に入れるのに最も適切な地名を一つ選び、マークしなさい。

- ① イッソス            ② アクティウム      ③ アルベラ  
④ ス サ            ⑤ サルディス      ⑥ ペルセポリス

問17 空欄  に入れるのに最も適切な地名を一つ選び、マークしなさい。

- ① イッソス            ② アクティウム      ③ アルベラ  
④ ス サ            ⑤ サルディス      ⑥ ペルセポリス

〔Ⅱ〕 近代社会は西欧に始まるが、各国の事情は必ずしも同じではない。16世紀から18世紀のイギリスとフランスに関する以下の設問に答えなさい。(解答用紙その1を用いなさい。)

問1 マルティン・ルターにはじまる宗教改革の波は、イギリス、フランスにも押し寄せてきた。次の記述について、適切でないものを一つ選び、マークしなさい。18

- ① ルター派は司教制度を維持したが、カルヴァン派は長老主義を取り入れた。
- ② カルヴァン派はフランス、イングランドにも広まったが、ルター派は北欧諸国で有力であった。
- ③ スコットランドのカルヴァン派はゴイセンと呼ばれた。
- ④ カルヴァンの予定説は、西ヨーロッパの商工業者の間に広まった。

問2 イギリスの絶対王政に関する記述で、適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。19

- ① ヘンリ8世は国王至上法によって、国王を首長とするイギリス国教会を成立させた。
- ② ヘンリ8世はカトリックの修道院を解散し、その土地や財産を没収した。
- ③ メアリ1世はフランス王室と結びついてカトリックを復活させようとした。
- ④ エリザベス1世は信仰統一法によって、教会体制を確立した。

問 3 フランスのユグノー戦争に関する記述で、適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。 20

- ① この新旧のキリスト教の対立には、貴族間の党派争いが結びついていた。
- ② サン・バルテルミの虐殺は、カトリック教徒によるユグノーの襲撃で起こった。
- ③ ユグノーであったアンリ 4 世がブルボン朝を開き、カトリックに改宗した。
- ④ ナントの王令で信仰の自由を与えたが、内乱は激化した。

問 4 フランス絶対王政に関する記述で、適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。 21

- ① ルイ 13 世の宰相リシュリューは、王権に抵抗する貴族やユグノーを押さえて三部会を開かなかった。
- ② ルイ 14 世の宰相マザランは、フロンドの乱を鎮圧して王権の強化に努めた。
- ③ ルイ 14 世は王権神授説を唱えて、君主権の絶対性を主張した。
- ④ ルイ 14 世の財務長官コルベールは、ドイツの商業的覇権に挑戦した。

問 5 17 世紀のイギリス革命に関する記述で、適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。 22

- ① イギリスではジェームズ 1 世が王権神授説を唱え議会を軽視した。
- ② 1628 年、議会は「権利の請願」によって、王の専制政治を批判した。
- ③ 1642 年、王党派と議会派のあいだに内戦が勃発した。
- ④ 独立派のクロムウェルは勝利したのち、議会から水平派を追放した。

問 6 17世紀末より、イギリスとフランスは断続的に戦争を繰り返したが、その時間的な順序について、適切なものを一つ選び、マークしなさい。23

- ① スペイン継承戦争 → ファルツ継承戦争 → オーストリア継承戦争 → 七年戦争
- ② ファルツ継承戦争 → スペイン継承戦争 → オーストリア継承戦争 → 七年戦争
- ③ スペイン継承戦争 → ファルツ継承戦争 → 七年戦争 → オーストリア継承戦争
- ④ ファルツ継承戦争 → スペイン継承戦争 → 七年戦争 → オーストリア継承戦争

問 7 それぞれの戦争後、講和条約が結ばれたが、その組み合わせについて適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。24

- ① アーヘンの和約 — オーストリア継承戦争
- ② カルロヴィッツ条約 — ファルツ継承戦争
- ③ パリ条約 — 七年戦争
- ④ ユトレヒト条約 — スペイン継承戦争

問 8 継承戦争に関する記述について適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。25

- ① ルイ14世は、スペイン継承戦争の結果、自分の孫のフェリペ5世をスペイン国王に即位させることに成功した。
- ② スペイン継承戦争は、北米ではアン女王戦争と呼ばれるが、この女王の死によってイギリスのスチュアート朝は断絶した。
- ③ オーストリア継承戦争によって、マリア・テレジアのハプスブルク家継承が確定した。
- ④ プロイセン国王はファルツ選帝侯領の継承権を主張した。



問 9 イギリス、フランスの対立は大西洋世界の覇権争いでもあった。アメリカの植民地に関する記述で適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。

26

- ① フランスはケベックを拠点に進出し、セント・ローレンス川から五大湖地域に到達し、その後南下して広大なルイジアナを手に入れた。
- ② オランダはニューアムステルダムを拠点に、ニューネーデルラント植民地を建設した。
- ③ イギリス最初のアメリカ植民地はヴァージニアであった。
- ④ ニューイングランド植民地建設は、ボストンに定住したピルグリム・ファーザーズによって着手された。

問10 18世紀の大西洋世界の貿易活動について適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。 27

- ① 国際商品である砂糖は、西インド諸島のイギリス、フランスの植民地で生産された。
- ② 砂糖プランテーションでは、西アフリカから輸入された黒人奴隷が使用された。
- ③ 黒人奴隷を購入するために、ヨーロッパの奴隷商人は銃器や綿製品などを西アフリカに持ち込んだ。
- ④ 北アメリカ植民地の商人は、この貿易網にほとんど参与することはできなかった。

問11 七年戦争とその戦後処理に関する記述で適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。 28

- ① この戦争はイギリス領アメリカ植民地ではフレンチ・インディアン戦争と呼ばれた。
- ② イギリスは、ケベックを除くカナダをフランスから取得した。
- ③ イギリスは、ミシシッピ川以東のルイジアナをフランスから取得した。
- ④ イギリスは、フロリダをスペインから取得した。

問12 西欧諸国の植民地獲得競争は世界的規模で展開し、インドでも戦われた。

以下の記述で適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。 29

- ① インド航路を開発したポルトガルは、ゴアを占領してアジア貿易の根拠地とした。
- ② スマトラ島のバタヴィアを根拠地としたオランダは、アンボイナ事件を転機にイギリス勢力をこの地域から締め出した。
- ③ イギリスはカルカッタなどを拠点にインド経営に力を注いだ。
- ④ フランスはコルベールのもとでフランス東インド会社を再建し、インドに進出した。

問13 インドにおけるイギリス、フランスの抗争に関する記述で適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。 30

- ① イギリスもフランスもムガル帝国の皇帝や地方政権の認可のもとでインドに進出した。
- ② イギリスもフランスもインド洋沿岸の港市に商館を設けた。
- ③ フランスはイギリスの拠点カルカッタに近いシャンデルナゴルに拠点を設けた。
- ④ 1757年、イギリスの東インド会社軍は、プラッシーの戦いでフランス・マラータ同盟連合軍を破り、インドでの地位を確立した。

問14 イギリスの議会政治に関する記述で適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。 31

- ① 1660年の王政復古は、絶対王政への回帰ではなく、議会の復活であった。
- ② 議会は1673年に審査法を制定して、宗教的寛容を一步前進させた。
- ③ 名譽革命時に、ウィリアム3世とメアリ2世は、議会在が提出した「権利の宣言」を承認して「権利の章典」として制定した。
- ④ 1721年のウォルポール首相のもとで、責任内閣制が成立した。

問15 イギリスのフランスに対する勝利の背景として、政府の財政基盤の相違も注目される。財政基盤に関する記述で適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。 32

- ① 王政復古によってイギリスではイングランド銀行が創設され、政府発行の国債を引き受けた。
- ② イギリス国債は、議会在が国債の元金と利子を保証していたので信用が高かった。
- ③ 絶対王政期のフランスでは、突然元金の償還や利子の支払いが停止されることがあった。
- ④ 絶対王政期のフランスでは、貴族が免税特権を持つ一方、農民は重税に苦しんでいた。

問16 イギリスとフランスの政治思想に関する以下の組み合わせのなかで、適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。 33

- ① ロック — 社会契約
- ② ホッブズ — 政党政治
- ③ ルソー — 人民主権
- ④ ボシュエ — 王権神授説

問17 ケネーの経済思想に関する語句として適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。 34

- ① 重農主義
- ② 『経済表』
- ③ レッセ・フェール
- ④ 古典派経済学

問18 次の科学者とその業績の組み合わせについて適切ではないものを一つ選び、マークしなさい。 35

- ① ラプラス — 宇宙進化論
- ② ジェンナー — 種痘法
- ③ ラヴォワジェ — 燃焼理論
- ④ ボイル — 微積分法

〔Ⅲ〕 以下の現代史に関する文章を読んで、設問に答えなさい。(解答用紙その2を用いなさい。)

- (1) 朝鮮での戦乱は、アメリカや中国などの介入を招いたが、この年、板門店で休戦協定が締結された。
- (2) この年、アメリカの( A )大統領が中国を訪問し、その後、日本との国交も正常化された。
- (3) 日本との戦争に勝利した中国では、この年、国民党と共産党が( B )を結び、対立の回避を目指したが、後に内戦がはじまった。
- (4) この年、アジア・アフリカ会議がインドネシアの( C )で開催され、平和五原則を具体化した平和十原則が発表された。
- (5) この年、中国の指導部は、大きく政策を転換し、「改革・開放」として、外国との経済関係をふかめる政策を選択した。
- (6) 中国では、この年、( D )と呼ばれる急速な社会主義化がめざされ、農村では人民公社がつくられるようになった。
- (7) この年から開始された政治運動のなかで、中国では、国家主席であった( E )が失脚し、林彪が勢力を拡大した。
- (8) 満洲から追われていた( F )は、この年、蔣介石を監禁して、抗日を訴えた。
- (9) 第三勢力と呼ばれた国々は、この年、( G )の首都ベオグラードで非同盟諸国首脳会議を開催した。

問 1. (1)~(9)の文章をふるい順序にならべかえ、解答用紙にそれぞれ文章の番号を書きなさい。

問 2. A~Gの空欄に入る語句を記しなさい。







